

## 授業改善推進プラン<国語科>

### 国語科における昨年度の授業改善推進プランの検証

<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○物語文や説明文を正確に読み取る力が身に付いてきている。</li> <li>○テーマ作文などの常時活動な取り組みにより、自分の考えの書き表し方を理解し始めている。</li> <li>○読書活動の推進により、読書量が増えている。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●漢字の読み書きについての力を伸ばすこと。</li> <li>●指示語や修飾語、敬語などの言葉を正しく理解する力を伸ばすこと。</li> <li>●グラフや表をもとに文章を書く力を伸ばすこと。</li> </ul>
--

### 国語科における調査結果の分析

	学 年	校内平均が目標値に対して 下回っている領域と内容	考 察	
内容別結果の分析	4 年 生	話すこと・聞くこと	<p>○すべての領域で、目標値を上回る結果となっている。</p> <p>○漢字を読む問題では、正答率が90%を超えている。</p> <p>●話すこと・書くことに関する力は目標値を上回っているが、前年と比べると下回っている。</p> <p>●自分の考えと事例との関係をもとに文章を書く問題では、目標値を10%下回っている。</p>	
		書くこと		
		読むこと		
		言語の特徴や使い 方に関する事項		
		情報の扱い方に 関する事項		
		我が国の言語文化 に関する事項		
	5 年 生	話すこと・聞くこと	パンフレットをもとに話し合う	
		書くこと	文章を書く	
		読むこと		
		言語の特徴や使い 方に関する事項		
		情報の扱い方に 関する事項		
		我が国の言語文化 に関する事項		
	6 年 生	話すこと・聞くこと		<p>○すべての領域で、目標値を上回る結果となっている。</p> <p>○漢字を書く問題と物語の内容を読み取る問題、言葉の学習の問題では、目標値を5%以上上回っている。</p> <p>●文章を読んで考えた自分の意見を書く問題や、文章全体の構成や書き表し方に着目して文章を書く問題は平均値であった。</p>
		書くこと		
		読むこと		
		言語の特徴や使い 方に関する事項		
		情報の扱い方に 関する事項		
		我が国の言語文化 に関する事項		

課題のある観点領域		
観点別結果の分析	4年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 叙述や会話をもとに、内容の中心となることを捉えることに課題がある。</li> <li>● 自分の考えを書くことでは、自分の考えとそれを支える事例との関係を明確にして書くことに課題がある。</li> </ul>
	5年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 指示する語句の役割と使い分けの理解に課題がある。</li> <li>● 自分の意見とその理由を明確にして文章を書くことに課題がある。</li> </ul>
	6年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分の意見とその理由を明確にして文章を書くことに課題がある。</li> <li>● 文章全体の構成や書き表し方に着目して、文章を書くことに課題がある。</li> </ul>

### 調査結果に基づいた授業改善のポイント

- 1 話し手が伝えたい内容の中心を捉えながら、聞く力を伸ばす。
- 2 主語や述語、修飾語や指示語、敬語などの言葉を正しく理解する力を伸ばす。
- 3 文章の構成を考えながら、書き表し方を工夫して書く力を伸ばす。

### 国語の授業改善策

- 1 話し手が伝えたい内容の中心を捉えながら、聞く力を伸ばす。
  - ・ 伝え合い活動などを行い、友達の考えを聞く活動を取り入れる。
  - ・ 話す聞くテストを活用し、テスト後に復習の時間を設ける。
- 2 主語や述語、指示語や修飾語、敬語などの言葉を正しく理解する力を伸ばす。
  - ・ 4学年は「こそあど言葉（接続語）」、5学年は「指示語」、6学年は「連体修飾語や敬語」について正しく理解するために文章の読み取りなどで意識して取り扱う。
  - ・ 日頃から、これらの言葉を使って文章を書かせる。
  - ・ 図書的时间などを活用し、読書に親しませ、文章の続き方への理解を深める。
- 3 漢字の読み書きについての力を伸ばす。
  - ・ 学習した漢字を常に使用させる。
  - ・ まとめテストなどを活用し、繰り返し練習に取り組み定着を図る。
  - ・ 漢字検定などの目標を設け、自己の伸びを感じられるようにする。
- 4 文章の構成を考え、書き表し方を工夫して書く力を伸ばす。
  - ・ 教材の読み取りの段階から「初め・中・終わり」や「序論・本論・結論」の役割に着目し、自分の考えを書く際にも、その役割を意識して書くことができるようにする。
  - ・ テーマ作文など、学年の日常活動による作品の掲示を行い、意欲を高める。
  - ・ 自分が書いた文章を書き直す推敲の作業を日頃から行い、誤った文章を適切に書き直すことができるようにする。
- 5 求められている形で、文章を書くことができるようにする。
  - ・ 朝のモジュール学習の時間や「書くって楽しいね」を活用し、基本的な文章を書く力を伸ばす。
  - ・ 意見文、要約文など、用途を意識して文章を書く練習に取り組みさせる。

